

# 71歳の挑戦

## ホノルルマラソン完走記



1998年12月13日午前5時。パチバチ、ドカーン、スタートを知らせる数百発の花火。6年ぶり2度目の42・195キロのフルマラソン挑戦が始まった。

2回目ということもあって気分的にゆとりが自分ながらある。給水ポイント、上り坂、距離地点、ペース配分を考えながら走りだした。スタートはアラモアナ公園前、元大相撲の小錦関がヤグラの上でマイクを片手に大声で盛んに応援している。皆手を振りながら走りだした。花火が上がり歩きながら4分後に我々はスタートラインに到着、適当な準備運動になり軽快に走りだした。

道がしばらく上り坂になってきた。ダイヤモンドヘッドそばの最初のキツイ10キロ地点である。今年は、前回の経験を生かしてゆっくりペースが効く奏してか約1キロの上り坂を難なく走破、疲れはまだ感じない。だが、体はジットリと汗ばんできた。10キロまでは毎日ジョギングしている距離である。やがて、17キロを過ぎ単調なハイウェイコースが8キロ続く、一人だけではとても走れないだろう。追い越すには邪魔になる大男の外国人、そして、透けるようなキレイな肌のアメリカ娘、進路に迷惑だつたり並走に楽しさを感じたり、何とか疲れを感じさせない景色に助けられる。『途中で飲むといいよ』同室のS氏からもらったドリンク剤を腰巻バッグにいれているため、その上がなんと重いことだろう。捨ててしまおうか、イヤ待て、復路まで待つてみろ、しばらく24キロ地点ツアーピクチャーポイントまで来た。ここが一つの目標だった。ニッコリ笑つてカメラに収まるゆとりも今年はある。

ハワイカイを一周して27キロ地点往路の行列とスレ違う、後から後から来る、オレは結構前の方らしいと感じる。ここでドリンクを飲む、ヘソの上が軽くなつた。さあ30キロ地点だ、前回はここで歩きはじめたところである。タイムは前回

より20分遅い、3時間50分である、まあいいか前回より30分遅れの6時間前半内でフィニッシュ出来ればいいとする。しかし走れる、歩かなくて良い、飲んだドリンクのせいかな、ペース配分が良かつたのかな、前回はここからフィニッシュまで2時間をしている。今はゆっくりペースだが足が上がり8キロの単調なハイウェイはツライ。しかし、今回はこの次にどんな場所があるかおおよそ想像がつく、それはこの次にどんな場所があるかおおよそ想像がつく、それを考えながら走る。

35キロ地点が来た、やはり走れなくなつた。給水で取つた水を腿にかけたときシェーズに水がかかり足がぬれマメが出来たらしく、少し歩くことにした。周りも九分どおり歩いている、皆同じだ。5分位走つてみよう、走れる、前回はだめだつたが今回は走れる、ゆっくりペースがよかつたのかな。1キロ位走つた、歩く、10分、走る、1キロ、そしてまた歩く。やがて40キロ地点ダイヤモンドヘッド復路上り坂1キロである。前方の行列が盛り上がり走つて見える、ヨシ上りは歩くことにして下りになつたら走ろう、今回は考える余裕がある。さあ、上りは終わつた、下りだ、走ろう、ツアーリュートが応援している、ゆっくり走りだした。フィニッシュはあと2キロの筈である、約800m走つたが続かない、もう少しだがんばれ、約5分歩く、風船が見えてきた、最後の気力をだして足をあげる。あと、500、300、200、100、ゴール。両手をあげてフィニッシュ、終わつた。タイムは5時間32分19秒、6年前より21秒早かつた、もう少し頑張れば10分は縮められたかな、まあいいか、よしとしよう。

### 民謡や日本舞踊などで楽しいひととき 婦人会のみなさんが『坂田苑』へ演芸慰問

私たち横芝町婦人会は、恒例の養護老人ホーム『坂田苑』への演芸慰問を2月6日（金）に実施しました。歌謡曲・民謡・日本舞踊・そして唄いながらのリハビリ体操など、おじいちゃん、おばあちゃんには大変喜んで頂き、私たちにとっても大変有意義で充実した時間となりました。

さて横芝町婦人会では、町民体育祭やふれあいウォーク・敬老会・駅伝等町が主催する様々な事業に積極的に協力しておりますが、ここ数年、残念なことに会員数が減少するなど、色々な意味で婦人会離れがみられます。

そこで、私たちと一緒に町の行事に参加して頂ける方を募集します。地域や年齢は問いませんので、皆さんのが積極的な応募・参加をお願いします。



【応募問い合わせ先】

TEL (82) 2826 会田